ライブ毎刊びゃっきーープレス

byacky press

2006
6月10/11日号
ライブ当日発行

無料配布
↑あたりまえ

発　行　(謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配　布　びゃっきーご本人かライブハウスの人

RAMBLING Satellite
役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!
アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

無敵全敗神話

弾けないピアニスト 歌のヘタなシンガー

ついにTV出演を果たし、いよいよ勢いに乗ってきたびゃっきー。その勢いとは裏腹に、ライブごとに上手い対バンと自分を比較してはヘコむ毎日を繰り返す。そんな浮き沈みを繰り返す中、ついにびゃっきーはあることにハタと気付く。「音楽界一実力のない音楽家」びゃっきー。それに気付いたときある意味びゃっきーは最強の音楽家への第一歩を踏み出す。もはや怖いものなし。

2006年5月21日(日)某地方局にびゃっきーの歌う姿が映された。一応テレビ出演という「名」を手にしたびゃっきーだが、「実」が微妙に伴わない。事実、ライブごとに、ほかのうまい出演者の演奏を耳にして「みんな上手いよなぁ」とため息をつく毎日。というかあまりに上手い人が多すぎて、正直感覚が鈍ってきて、あまり気にならなくなってきた。

そんな矢先に、某サイバラという漫画家のマンガを読んでいて、ある文字が目に入ってきた。「漫画界一画力のない漫画家」、そのサイバラさん、自分のことを自虐的にそう呼んでいるのだが、あながち間違ってもいない。は、もしかして、びゃっきーも「音楽界一実力のない音楽家」なのでは？　そんな不安が心をかすめる。そして過去数十回行ってきたライブを振り返って思い返してみると……、がーん！　自分の方がうまかったのではないかという出演者と一緒にやった記憶がない。ということは、「今まで一緒にやった人の中では一番実力のない音楽家」びゃっきー。

「音楽界一」でないところが救いだが、やればやるほど「音楽界一」に近づく気がする。

そんな失意のびゃっきーの記憶の中でコジコジというアニメのキャラクターが容赦ないセリフを浴びせかける。「次郎君は飛べない鳥、泳げない魚だね」。そのコジコジというアニメに出てくる「次郎君」というキャラは半魚鳥という半分鳥で半分魚というキャラクターなのだが、飛べないし泳げないという設定。じゃあ、びゃっきーは？　「びゃっきーは弾けないピアニスト、歌のヘタなシンガーだね」。そ、そんなー！！

しかしその事実はある意味びゃっきーに希望も同時に与えることになった。くだんのサイバラという漫画家はあなたも知っているであろう、今や知らぬものの無い売れっ子漫画家である。次郎君だって、「コジコジ」というアニメ中ナンバー2の位置にいて、なかなかに魅力あるキャラクターなのである。どちらも優れていることなどウリではないのである。

そうだ、そうだ！　びゃっきーだって別にうまさなんかで勝負してないんだ！　などという自分の都合のいい解釈を行って、勝手に一人で盛り上がり始めた。

小一時間ほど後、ピアノを必死で練習するびゃっきーの姿があった。「うまさで売ってないって言ってもやっぱりある程度はうまくないと……」そこらへんの気の弱さがびゃっきーのウリである――ってことにしていい？

（びゃっきー）